

中部中学校だより

きずな



令和3年5月25日発行

第11号

亀山市立中部中学校

亀山市田村町75番地

☎: 82-2101

文責: 德田(校長) 中部中HP QRコード



東京オリンピックはどうなるのか・・・と気にならないわけではありませんが、そんなことよりも(オリンピック関係者の皆さんすみません)中部中の行事の方が心配です。

修学旅行は、先週末3年生に向けて、「6月26日(土曜日)~28日(月曜日)の日程で、県内(伊勢志摩以南)との発表をしたところです。当初は、5月12日からの3日間を予定していましたが、期日未定で延期。ようやく、ホテルをはじめ行程等がたまりつつあるところです。

次に、大きな行事としては体育祭と文化祭があります。

体育祭は、今のところ9月16日(木曜日)のウィークデーが予定されています。保護者の皆さんには申し訳ないところですが、ひょっとすると無観客になるかも知れません。

(昨年度は学年別開催で保護者参観は可でした)一方、文化祭は10月31日(日曜日)が予定されています。例年なら、合唱コンクールがメインとなって、保護者の皆さんにも公開しているところです。合唱の取組そのものは、感染対策を十分に施せばできなくはないのですが、そのクオリティ(=quality)の追求となると難しくなります。たとえ開催できたとしても、これまた体育馆に多くの人を入れることができるのがどうか。

これらのほかにも、各種PTA関係の行事や学校公開デー(授業参観)など悩ましい限りです。いずれにしても、新型コロナという見えない敵(?)と戦っている以上は、何をどう考えても不透明のままです。その都度、その都度の判断となることを、何卒ご容赦ください。



世界はとっても広い!

日本人学校の先生になりたいという夢を持ったきっかけは、大学生の時、ニュージーランドとベトナムに行き、現地の学校を見学し、「世界って広い!まだ知らないことが多いすぎる!またいつか海外にいって視野を広げたい」と感じたからです。今は現地の学校で

ではなく、海外にある日本の教育に携わっていますが、毎日刺激を受けながら日々仕事に取り組めています。私が頑張るのは中部中学校の在校生のみんな、保護者の皆様、職員の皆様、卒業生、そして盛大に見送ってくれた今の3年生たちのおかげです。遠く離れているけど…、離れていても皆さんに私は支えられていると改めて実感しています。これからも「ドイツレポート」を楽しく読んでいただき、皆の世界も広がってくれたら何より嬉しいです。では、ドイツの挨拶で。Tschüss(チュース)!カジュアルな別れの挨拶は、これになります(^^)



★今回は、前回の続編です。KOKORO先生のレポートが熱くて文量が多く、載せきれませんでした(笑)



部活訪問④

家庭部・ソフトボール部

学校だよりの新コーナーとして、「部活訪問」を企画しました。日頃から、各種大会やコンクール、文化祭等への出品などに向け、一生懸命に取り組んでいる様子を紹介します。中には、部長・副部長や顧問の先生へのインタビューも！！★コーナー4回目となる今回は、「家庭部」と「ソフトボール部」です。

【家庭部】顧問：鈴木裕美子先生・村山秀美先生 部長：片山瑠里 副部長：高橋悠花

3年生8名と2年生5名に対して、1年生が16名入部したこと、部員数が倍になった家庭部。取材したその日も、所狭しと活動場所である被服室じゅうを使って作業にいそしんでいました。顧問の鈴木先生は、「つくる楽しみ、つくる工程の楽しみ、完成後の楽しみ」の3つの楽しみがあると言われ、部員たちもそれを実感しながら活動している様子が見て取れました。

部長の片山さんは、「1年生がたくさん入部してくれて大変だけど、私たちは教える必要があるし、それが大切なこと」ときっぱり。「家庭部の良いところ、良くないところは？」の質問に答えてくれたのは、副部長の高橋さん。「良いところは先輩と後輩が仲良しなところ、良くないところは整理整頓が苦手なところ」と、少し照れながら話してくれました。コロナ禍での活動には大変な部分もあるようで、例えば調理実習がままならないこと、

小学校や地域と連携するといった校外での活動ができないことなど、部員たちは歯がゆさを感じているようでした。「ホールケーキを作ってみんなで食べたい！」との声も聞かれました。もう一人の顧問村山先生は、「力を合わせて、手際よく作業している様子に感心しています」と話す。実は、家庭部が制作したものが、学校



椅子を作っています

制作指導をする鈴木先生 のところどころに飾られています。さて、どこに？ヒントは玄関…です。

【ソフトボール部】顧問：寺島鈴香先生・谷川嘉奈恵先生

部長：佐敷あおい 副部長：松尾美伶・鈴木彩楽



3年生がいないソフトボール部。さぞかし、その運営には困っているのかと思いきや、部長の佐敷さんを中心に、強いまとまりを感じることができます。その証拠（？）に、昨年の秋に行われた新人戦では、鈴亀地区でベスト4まで勝ち残り、先日の春季大会は余裕の勝利。今年の目標は？の問い合わせに、部長の佐敷さんは、「夏の県大会出場です」とやや控えめ。チームに期待することについては「いつも元気に楽しく」と答え、課題は「メリハリがないところ」と、2年生キャプテンにしては、チームをよく観察しているなあと感じました。

顧問の寺島先生は、「6月にある県大会で、まずは1勝したい」と、これまた控えめなコメント。「日頃の生活で、もっと大きな返事をしっかりできるようにしたい」と、競技以外の目標も語ってくれました。今年から顧問になった谷川先生は、「みんな楽しそうにしっかり練習している。何だかすっかりファンになってしまいました」と目を細めていました。

一昨年度は部員数が少なく、存続の危機にあったソフトボール部。今年度は1年生が7名入部し、2年生と合わせて18名となり、完全復活を果たしました！もっと勝利に貪欲に！！



一緒に練習する寺島先生

梅雨入り後2回目の つ・ぶ・や・き ...

◆古畑任三郎こと田村正和さんの訃報にも驚いたが、新垣結衣さんと星野源さんが結婚したのには、もっと驚いた。とは言っても、もちろん自分に身近な人たちではないので何ら影響はないが、実際に身の周りで起こったことに対して驚くというのは、色んな種類があるようだ。予想していなかったことが起こることにはちがいないが、悪い知らせに驚く場合や、思いがけないことに喜ぶ様であったり、急なことに肝をつぶしたりといったこともある。できれば、中部中の生徒が思いがけず大きな成果を上げた…みたいなことに驚きたいなと思う。